

くすりゅう 九頭竜ダム

～環境マップ～



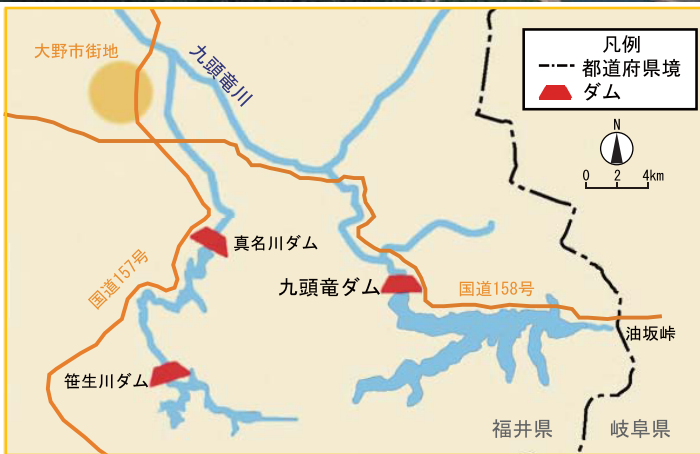
九頭竜ダムは治水、発電用ダムとして、1968年に完成したロックフィルダム（石を積み上げたダム）です。ロックフィルダムとしては日本最大級の規模を誇ります。

ダム建設によって環境は大きく変わりましたが、ダム周辺は生き物の新たな生息環境として、いろいろな生き物が生息する大切な場所になっています。

どんな生き物と出会えるか、ダムやその周辺をどのように利用しているか、出かけてみましょう。



クイズにも答えてみてね。
最初の質問は、
Q-1. 私はだれでしょう？
答えは後のページ

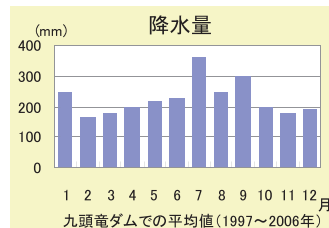
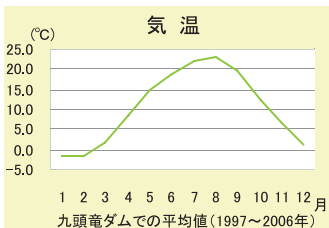


九頭竜ダム周辺は、標高が550m程度と高く、さらに周辺の加越山地、越美山地には1,000mを超える山々が連なっています。

ダム周辺は、日本海型気候の多雨多雪地域に属し、最近10年間の平均年間降水量は2,700mm程度で、降水量が多いのは、夏（7月、9月）と冬の積雪が多い1月です。気温は、1月、2月が-1℃程度と低く、8月が最も高く、23℃程度になります。

ダムが位置する九頭竜川は、流域面積が2,934km²の一級河川です。流域の81%が山地で、ブナ・ミズナラ林等の豊かな自然が広く保全されており、ダム湖を含む流域の一部は、奥越高原県立自然公園に属し、ダム湖周辺は鳥獣保護区に指定されています。

ダムまでは、大野市街地からは車で約50分、福井市からはJR越美北線や国道158号で約1時間30分で到着します。



【底生動物】

底生動物とは、主に水底で生活する小さな生き物で、貝、エビ・カニなどの甲殻類、水生昆虫などがいます。水生昆虫はカワゲラ、カゲロウ、トビケラ、トンボなどのなかまで、多くのものは幼虫の時期だけを水中で過ごします。

ダム湖周辺では300種類以上の底生動物がみられ、その中にはミネトワダカワゲラ、ミヤマノギカワゲラ、ムカシトンボ、キボシツブゲンゴロウなど7種類の貴重種もみられます。

ダム湖の湖底にはミミズのなかまなど限られた生き物しかすんでいませんが、ダムに流入する川やダムの下流の川にはいろいろな生き物が、いろいろな場所（流れが速くて浅い「瀬」、流れが緩やかで深い「淵」、石の表面や石の下など）にすんでいます。巣をつくったり、石の間に網を張るものもいます。石を静かに取り上げて、どんな生き物がいるかみてみましょう。



① カワニナ



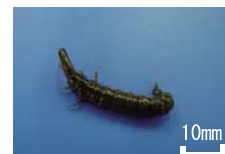
② スジエビ



③ ミネトワダカワゲラ (幼虫)



④ エルモンヒラタカゲロウ (幼虫)



⑤ ヒゲナガカワトビケラ (幼虫)

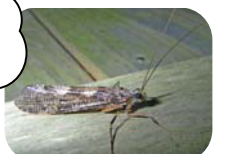


⑥ ムカシトンボ (幼虫)



⑦ キボシツブゲンゴロウ

Q-2. この中でボクの子どものときの写真はどれ？



【魚 類】

ダム湖周辺では 33 種類の魚類がみられ、その中にはニッコウイワナ、カジカ、アカザ、アジメドジョウなど 10 種類の貴重種がみられます。

ダム上流、下流河川ではニッコウイワナ、カジカ、アカザ、アジメドジョウ、アユ、タカハヤ、アブラハヤなどがみられます。ダム湖内の止水環境^{しづいかんきょう}ではコイ、ニゴイ、フナ類などがみられますが、これらは魚の放流や放流する魚に混じって入ってきたものと考えられます。

ダム湖内及び上流河川ではサツキマス、トウヨシノボリなど本来は海と川の両方を利用する魚もみられ、ダム湖を海の代わりに利用しています。



Q-3. 食べるおいしいという意味で名前がついた魚は？



① ニッコウイワナ



② カジカ



③ アカザ



④ アジメドジョウ



⑤ ヤマメ



⑥ アユ



⑦ アブラハヤ



⑧ トウヨシノボリ



⑨ コイ

九頭竜ダム周辺での開花時期

名前 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ミスミソウ												
エビネ												
ニリンソウ												
ヤマブキ												
ヤマブキソウ												
エチゴキジムシロ												
ヤマシャクヤク												
フジ												
カキツバタ												
ホオノキ												
トチノキ												
サツキ												
ハクウンボク												
ケナシヤブデマリ												
タニウツギ												
イワガラミ												
ウツギ												
ネムノキ												
タマアジサイ												
ハンゴンソウ												
カワラハハコ												
サンインヒキオコシ												
ハクサンアザミ												
リンドウ												
ツメレンゲ												

九頭竜ダム周辺での鳥の飛来時期

名前 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マガモ												
コガモ												
ヒドリガモ												
サシバ												
イワツバメ												
オオルリ												
ノビタキ												
メボソムシクイ												
サメビタキ												

このマップは、平成3～19年度に国土交通省が実施した「河川水辺の国勢調査」の調査結果からまとめています。九頭竜ダム湖周辺には優れた自然が残されていますが、一方、特定外来生物（生態系等に被害を及ぼす恐れがあり、規制・防除の対象となる生物）のククチバスやオオハンゴンソウが見つかっており、また、魚の食害や糞害による森林被害が心配されるカワウの増加も確認されています。今後は、これらの生物の動向にも注意することが必要です。



ククチバス



オオハンゴンソウ



カワウ

【質問の答え】

- Q-1. わたしは「もこ」。森と湖の妖精。
九頭竜川の上半原にある「蝶の湖」にすんでいます。
- Q-2. ⑤ヒゲナガカワトビケラ
- Q-3. ④アジメドジョウ
- Q-4. ⑤ネムノキ
- Q-5. ⑤オオムラサキ
- Q-6. ③モリアオガエル
- Q-7. ①カナヘビ
- Q-8. ②ムササビ
- Q-9. ⑧ウグイス



国土交通省 九頭竜川ダム統合管理事務所
〒912-0021 福井県大野市中野 29-28
TEL (0779) 66-5300
URL <http://www.kkr.mlit.go.jp/kuzuryu/>
九頭竜ダム管理支所
〒912-0214 福井県大野市長野第33号4番地の1
TEL (0779) 78-2116

ダム湖周辺の状況



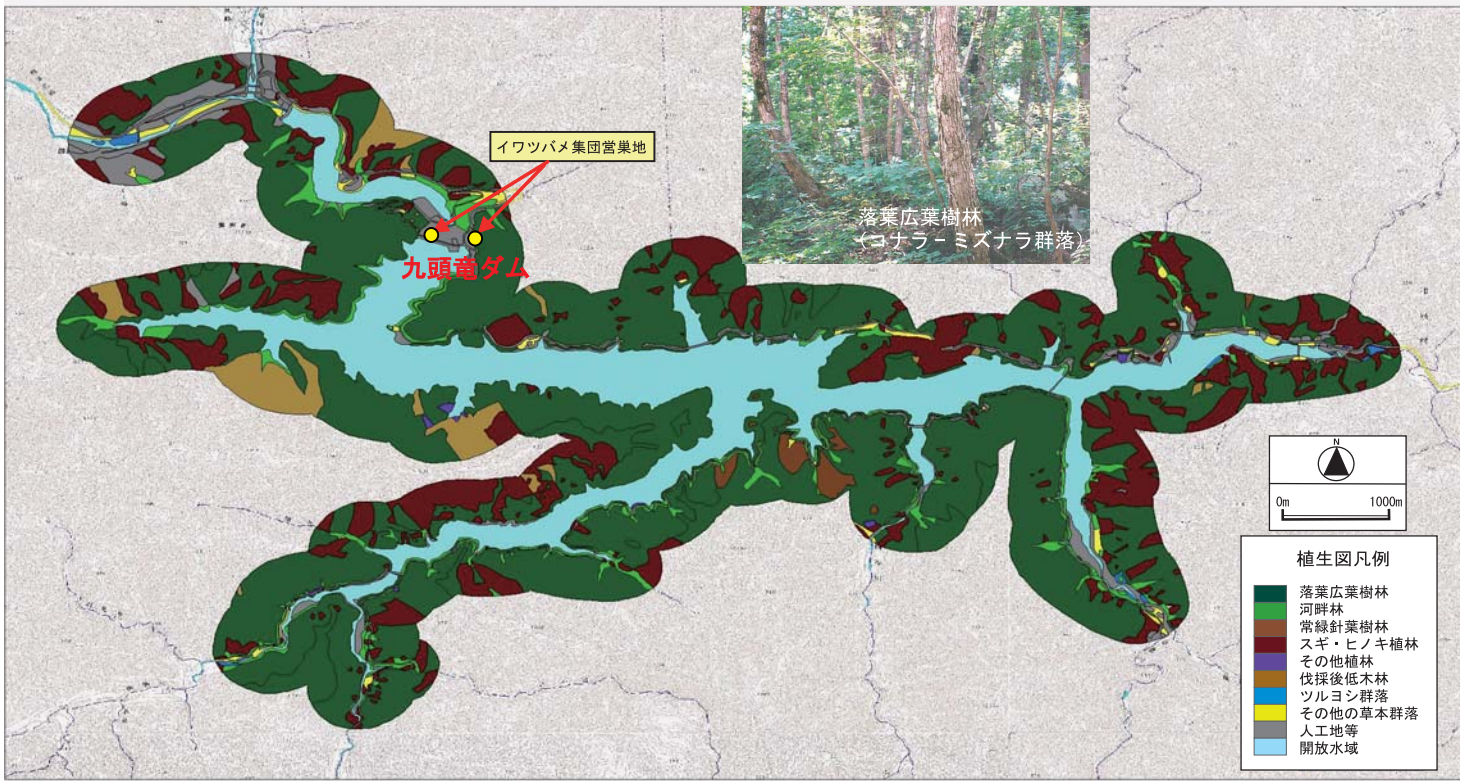
下流河川



ダム湖内



上流河川



スギ・ヒノキ植林



ツルヨシ群落



その他の草本群落
(ススキ群落)

Q-4. 夜になると葉を閉じることから名前がついた植物は？

【植物】

福井県は日本海型気候と太平洋型気候のさかいめにあたることから、両気候帯で特徴的な植物（ハイヌガヤなどの日本海側の植物とヒダボタンなどの太平洋側の植物）が同時にみられることが特徴です。

ダム湖周辺では61種類の貴重種を含む約1,000種類の植物がみられます。

ダム湖周辺の斜面はミズナラ、コナラ、ブナなどの落葉広葉樹が森林を形成し、その間にスギ、ヒノキなどの植林がモザイク状に分布します。

林縁部にはタニウツギ、ネムノキなどの低木や、ススキ、クズなどの草本が、河川の砂礫地や草地ではネコヤナギなどのヤナギ類が、水辺にはツルヨシやミソソバなどがみられます。

地質が石灰岩質の白馬洞付近では、石灰岩を好むクモノスダ、ツルデンダなど、特徴的な植物がみられます。



① ヤマフキ



② フジ



③ キリ



④ ウツギ



⑤ ネムノキ



⑥ タマアジサイ



⑦ ハンゴンソウ



⑧ リンドウ



【昆虫】

ダム湖周辺では約 3,000 種類の昆虫がみられ、その中にはクロシジミなど 14 種類の貴重種も含まれています。クワガタムシなどコウチュウや蝶と蛾のなかまが多く、これらで全体の約 65% を占めています。

初夏、谷沿いの草地にはウスバシロチョウが、ダム湖畔のヤナギにはコムラサキがみられます。夏、集落の新積みには美しいルリボシカミキリが集まり、ときには樹上を飛ぶオオムラサキもみられます。林縁の草花でクロシジミがみられるのもこの頃です。秋には夏眠から覚めたミドリヒョウモンや樹上で成虫になったばかりのヤスマツビバナフシもみられます。



① ルリボシカミキリ ② ヤスマツビバナフシ ③ ウスバシロチョウ

【爬虫類】

ダム湖周辺ではニホントカゲやカナヘビのほか、タカチホヘビ、シロマダラ、ヒバカリなどの貴重種を含む 8 種類のヘビがみられます。

水辺ではシマヘビやヤマカガシ、山林ではマムシ、シロマダラ、タカチホヘビ、ジムグリなどがみられます。ヤマカガシやマムシには毒があり、注意が必要です。ジムグリは土の中に潜る珍しい習性があります。



① カナヘビ ② シロマダラ ③ マムシ
監修、写真提供：長谷川 巖 (福井県両生爬虫類研究会)



Q-7. 危険が迫ったとき、自分から尾を切りはなしてしまう生き物は？
Q-8. 「空飛ぶ座布団」と呼ばれる生き物は？

【鳥類】

ダム湖周辺にはクマタカ、サンショウクイ、ヤマセミ、オシドリなど 27 種類の貴重種を含む約 100 種類の鳥類が生息しており、その多くは森林性の種類ですが、ダム湖にはマガモなどのカモ類も飛来します。また、ダムのところでは春から夏にかけて、イワツバメが集団で繁殖を行っている様子を観察することもできます。

比較的によく出会える森林性の種類は、森林内ではコガラ、オオルリ、キビタキ、林縁ではウグイスやホオジロですが、河川ではキセキレイやカワガラスなどの水辺を好む種類もよくみられます。



Q-9. 鳴き声が美しいと言われる日本三鳴鳥はオオルリ、コマドリ、あと1つは？



④ コムラサキ ⑤ オオムラサキ ⑥ クロシジミ
監修：下野谷 豊一 (日本鱗翅学会) 写真提供：下野谷 豊一 (①-③) 福井県自然保護センター (④・⑥ [浅野裕治 撮影]、⑤)

【両生類】

ダム湖周辺ではヒダサンショウウオ、アカハライモリ、ナガレヒキガエルなどの貴重種のほか、カジカガエルやモリアオガエルなどの 7 種類のカエルもみられます。



① ヒダサンショウウオ ② カジカガエル ③ モリアオガエル
監修、写真提供：長谷川 巖 (福井県両生爬虫類研究会)

【哺乳類】

ダム湖周辺ではカヤネズミ、モモジロコウモリ、国の特別天然記念物のニホンカモシカなどの貴重種を含む 23 種類の哺乳類がみられます。その多くは、ニホンリス、ムササビ、ニホンザル、ツキノワグマなどの森林性の種類ですが、白馬洞には、コキクガシラコウモリ、キクガシラコウモリ、モモジロコウモリなどのコウモリ類が生息しています。



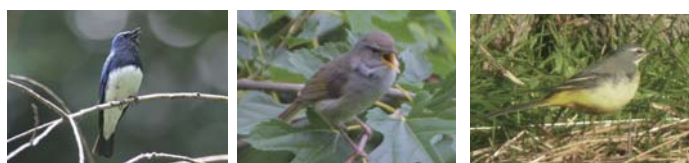
① ニホンカモシカ ② ムササビ ③ ツキノワグマ
監修：松村 俊幸 (福井県自然保護課) 写真提供：福井県自然保護センター



① クマタカ ② ヤマセミ ③ オシドリ



④ イワツバメ ⑤ マガモ ⑥ コガラ



⑦ オオルリ ⑧ ウグイス ⑨ キセキレイ